



山形県スポーツコミッション講演会

# 北海道におけるスポーツ合宿の現状

石澤 伸弘

(北海道教育大学 札幌校)

[ishizawa.nobuhiro@s.hokkyodai.ac.jp](mailto:ishizawa.nobuhiro@s.hokkyodai.ac.jp)

# 本日の内容

## 1. 道内のスポーツ合宿の実施状況

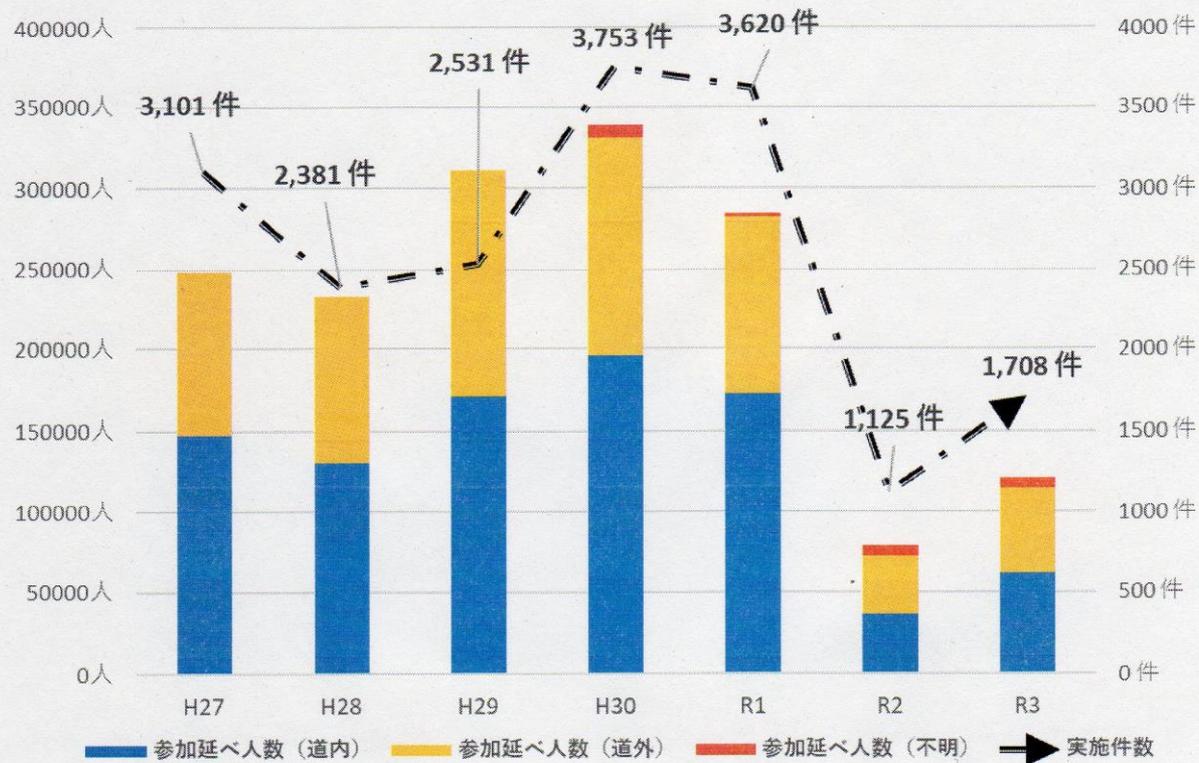
- 道庁環境生活部 スポーツ局 スポーツ振興課からのデータより
- 北見市スポーツ合宿実行委員会からのデータより

## 2. スポーツ合宿に参加する側の選定要因

- 道内で合宿を実施したトップチームのデータより

# 北海道におけるスポーツ合宿の現状

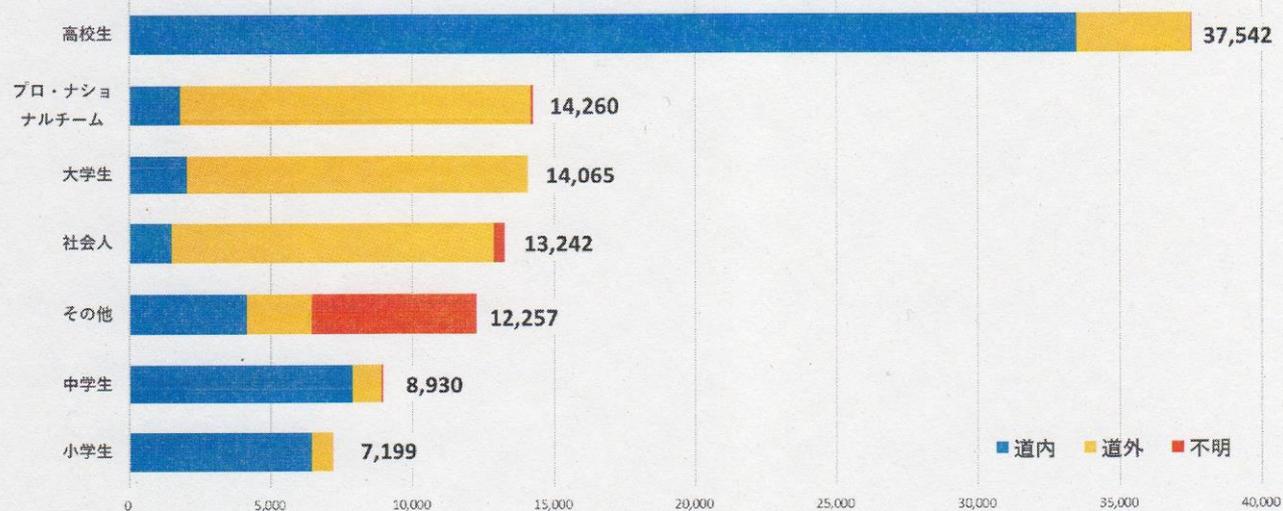
図2. スポーツ合宿の実施状況（令和3年度分）



※ コロナ前は飽和状態，コロナ後は復調傾向

# 北海道におけるスポーツ合宿の現状

図5. カテゴリー別の参加延べ人数（令和3年度分）



※ 参加の下支えは地元の生徒や児童。

トップチームの参加は13%程度。

# 北見市の事例

- ▶ 北見市は女満別空港から車で40分の距離にあり、オホーツク圏の産業と経済・文化の中核都市である。人口は約12万人
- ▶ スポーツ合宿は、昭和60年から誘致活動を始め、現在ではラグビー、陸上、スキー、カーリングなどが訪れている。
- ▶ 近年、「合宿の里 きたみ」として定着。



# 北見市の事例

## ▶ スポーツ合宿受け入れ実績

- 平成29年 15種目 178チーム 4,471名
- // 30年 14種目 197チーム 4,125名
- 令和 元年 14種目 165チーム 3,520名
- // 2年度 5種目 52チーム 703名
- // 3年度 11種目 85チーム 1,414名
- // 4年度 12種目 121チーム 1,782名

※ コロナ前は飽和状態が顕著に…。隣の網走市との共働も目立った。  
コロナ後は復調傾向。



# スポーツ合宿の経済波及効果

平成29年度 北見市のスポーツ合宿事業 経済（波及）効果

1. **経済波及（絶対効果）** = 688,719,925円

○合宿事業によって市内におちる貨幣の総額 [円]

→ 式Ⅰ (①収入総額 + ②支出総額) = ③直接効果

→ 式Ⅱ ③直接効果額 × ④二次効果係数 (1.7) = 経済波及効果

直接効果：402,620,023円

二次効果：「直接効果額」×(1.7)  
(281,834,016円)

2. **経済効果（相対効果）** = 206%

○合宿事業にかかる支出経費に対する効果・便益の割合 [%]

→ 式 ①収入総額 ÷ ②支出総額

収入総額：272,685,310円

支出総額：132,444,057円

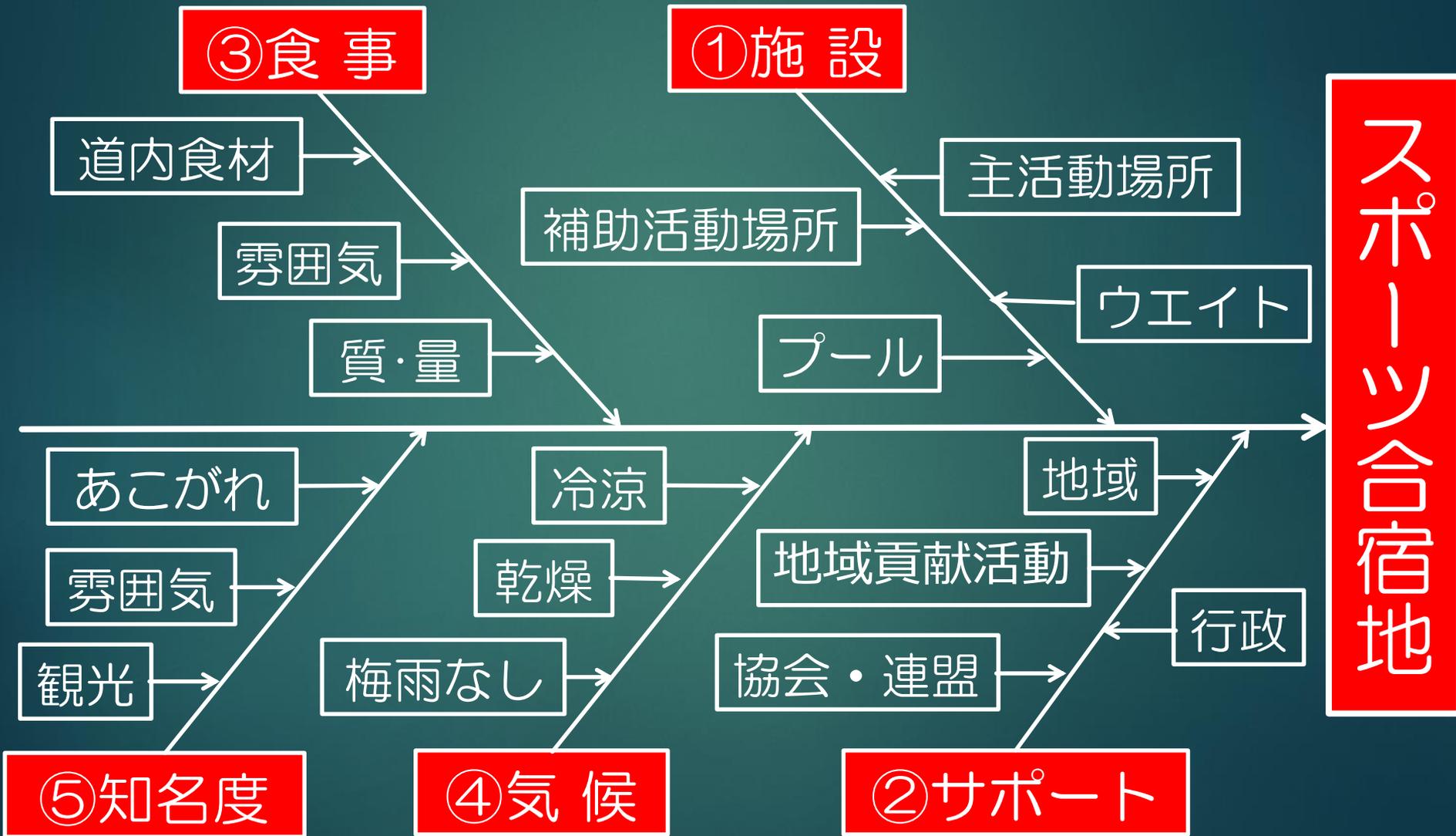
※参考

H28年度 = 経済波及（絶対効果）：670,453,823円 / 経済効果（相対効果）：203%

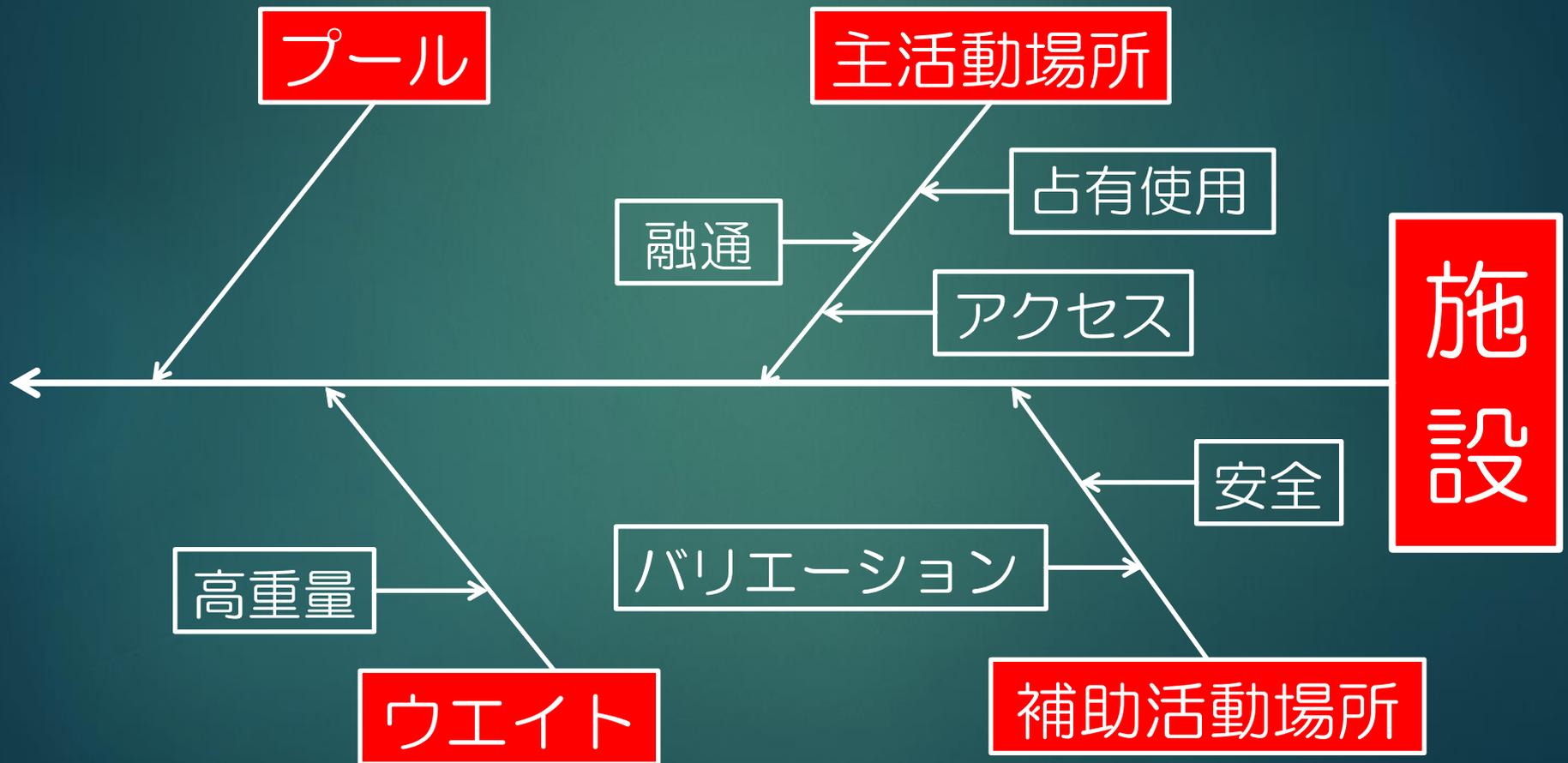
# トップチームが合宿地に求めるもの

北海道でスポーツ合宿を実施している本州のトップチームにインタビュー調査を行い、「**トップチームが合宿地に求めるもの**」を明らかにした。

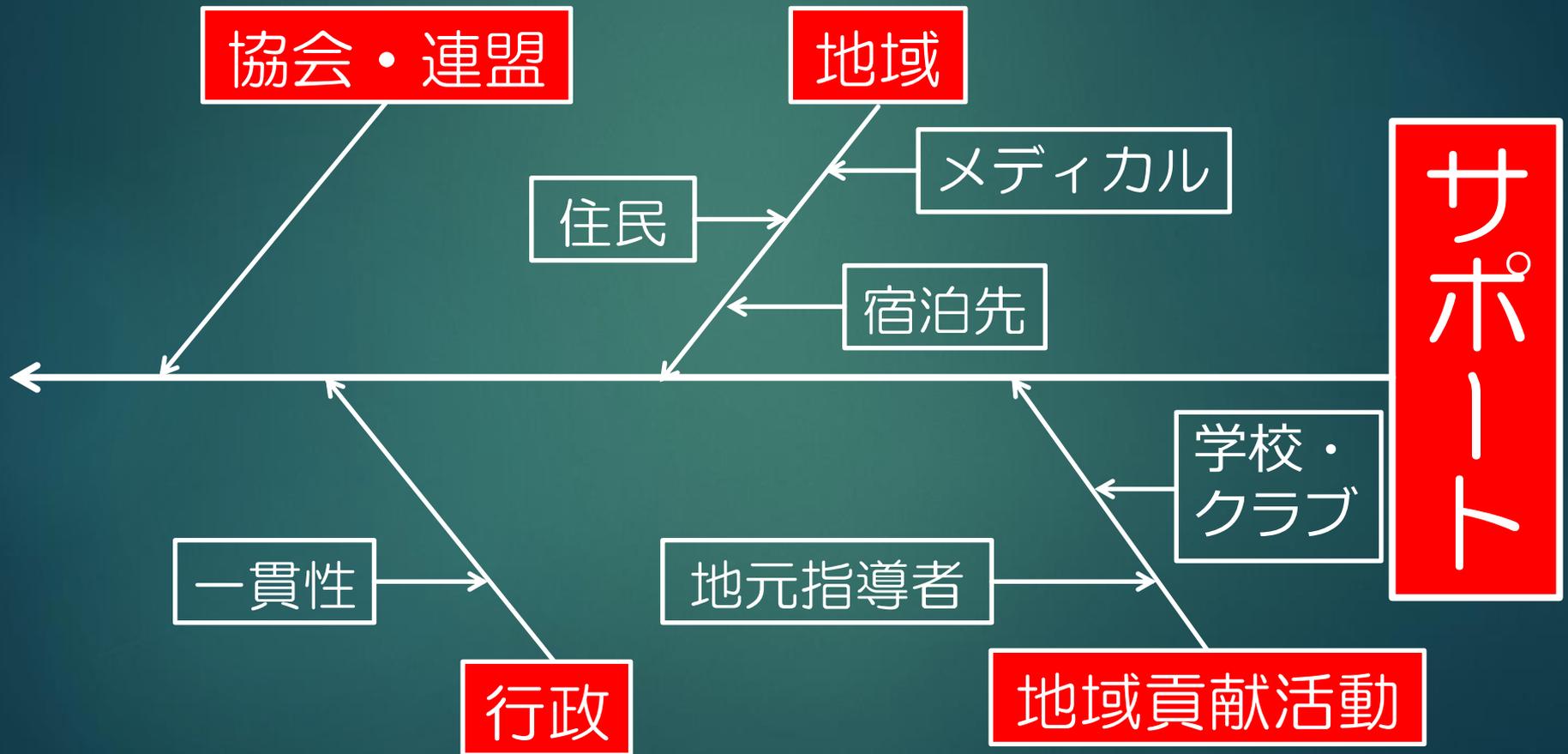
# トップチームが合宿地に求めるもの



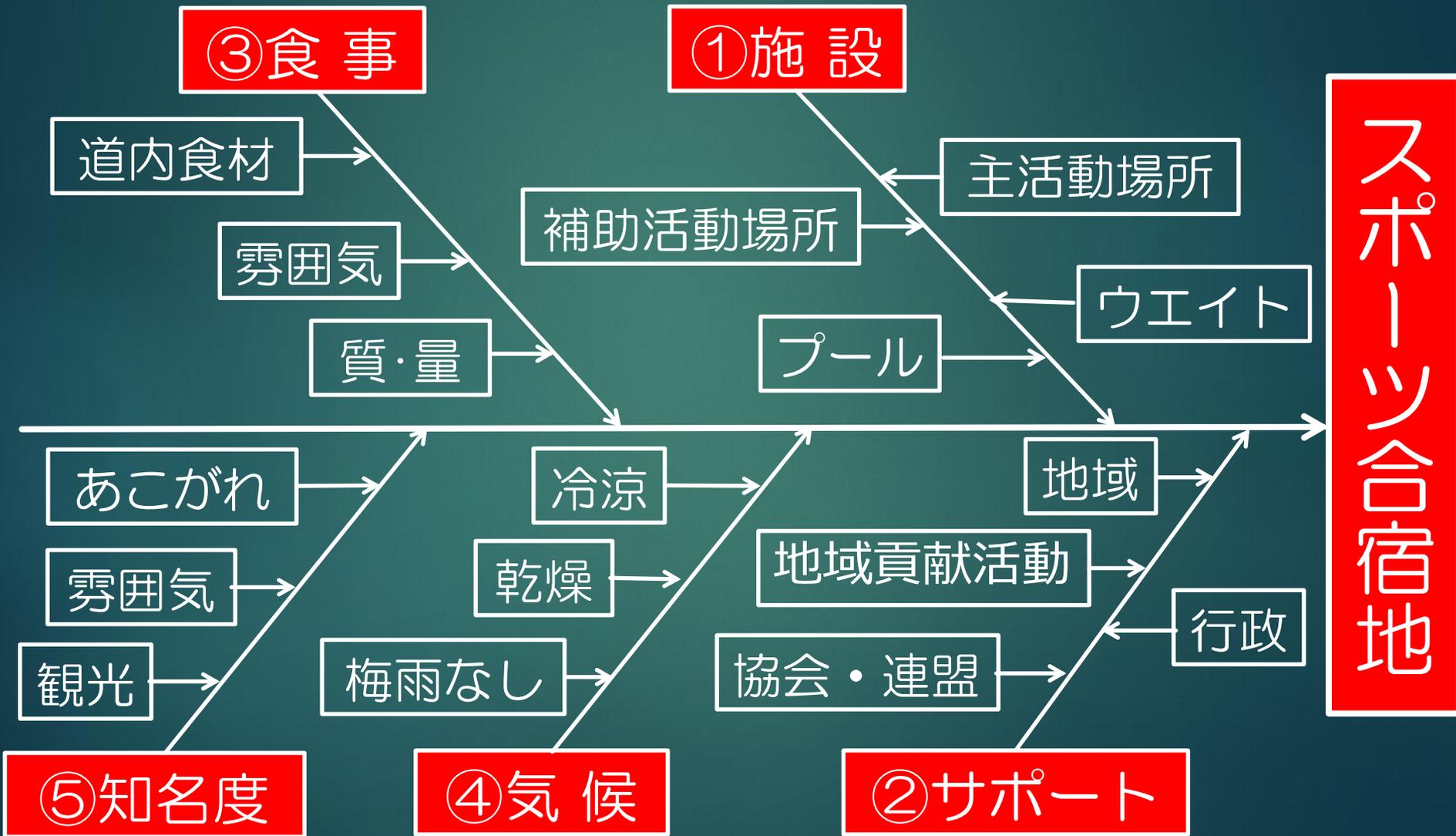
# 主要因①「施設」の詳細



# 主要因②「サポート」の詳細



# トップチームが合宿地に求めるもの



# まとめ

北海道でスポーツ合宿を行っている本州のトップチームにインタビューを行い、合宿地の選定・促進に関する要因の抽出を試みた。その結果、「施設」、「サポート」、「食事」、「気候」、「知名度」といった5つの要因が抽出できた。

山形県のこれからのスポーツ合宿誘致の一助になれば幸いである。